

HAM RADIO 2019 レポート

— ヨーロッパ最大のハムフェアに JARL が初出展 —

JA4DND/ex-JH3DAE

松浦 博美



■略歴

1948年島根生れ。1965年開局。JA CQ誌「DX World: Low-Band DXing」担当編者。ARRL DXCC Honor Roll。主なDXペディション歴：スプラトリー諸島 (DX0JP、9M0F)、アンギラ (VP2END)、セント・マーチン島 (FS/JA4DND)、パラオ共和国 (T88ND)、グアム (KH2/JA4DND)、マリアナ諸島 (KH0/JA4DND)、東マレーシア (9M6/JA4DND)、アンドラ公国 (C37AC) など。主なパイロット局歴：XR0Y (イースター島)。

2019年6月21～23日の3日間、ドイツのフリードリヒスハーフェンで開かれた HAM RADIO 2019 に JARL が初めて公式出展しました（過去、JARL 東海地方の有志による出展はありましたが連盟としては初）。HAM RADIO は、近年、世界のアマチュア無線フェスティバルの中で最も注目されているものです。

例年、HAM RADIO に参加されている松浦さんですが、今年は JARL ブースの担当者の1人としても参加されました。

約 670 名の方が JARL ブースを訪れ、松浦さん達の JA の海外向けバンドプランなどの説明に耳を傾け、さまざまなご意見をいただいたそうです。こういった地道な活動を行うことで海外のハムが JA の事情を考慮した運用をしてくれることにつながります。

今回は現地で仕入れていただいたホットな情報と、帰途行われたアンドラ公国DXペディションについてレポートしていただきます。HAM RADIO に行きたいと思われている方、ぜひお立ち寄りください。HAM RADIO 2020 は2020年6月26～28日に開催されます。

ご注意とお願い：発表はポスター・セッション形式を予定しております。松浦さんが席を離れていらっしゃる場合もありますので、その時はあらためてお立ち寄りください。

日時 2019年7月20日(土) 10:30～14:30

場所 池田市民文化会館 中2階 小会議室2